

昭和31年6月18日第3種郵便物認可
毎月1回1日発行
定価1部15円
印刷所 田辺印刷株式会社
上田市原町 TEL1492

千曲会報

編集兼発行人 小林 尚一
発行所 社団法人千曲会
長野県上田市常入信州大学繊維学部内
振替長野6243・東京43341
電話上田1215(代表)1218(直通)

思い出づるまに——お訣れの辞に代えて——

伊 藤 武 男

上田繊維専門学校長を拜命して、京都から赴任したのは昭和20年の暮のことですから、爾来今日まで“戦後の17年”を私は“専門”と“信大”ですごしたことになります。

あれは日本が敗戦にうちのめされて、われもひと、国全体虚脱状態に陥っていたときのこと、立っている足が床にとどかぬほどに込みあう信越線の列車から上田駅のホームにリュック姿で降立ったのはたしか11月23日の夕刻ぢかくでした。あの時お出迎えていただいた学校の幹部の方々のお顔は今でもはっきり思い出せる気がします。

さて、全国的な虚脱の状態から気を取直して、戦災こそ受けなかったが、国と共に殆んど無一物に等しくなっている学校をこれから立ち直らせようというのですから、当時の先生方の力強い御協力が無かったら到底手が着かなかったことだらうと思われます。

そうこうするうちに、我国では空前の教育改革が行われることになりました。一県一大学という政府の方針—実はG. H. Q.の方針—に従えば、長野県下に散在する6つの専門程度の学校が寄って一つの総合(?)大学を形造るはずでした。当時、専門学校では名門として自他共に許した上田のことだから、他の弱小の学校と一譜になるのでは、いつも足を引っばられることにならんかという多少自徳的な危惧も一部にはあったらしいが、しかし本格的には、そんな小さなエゴイズムからではなく、本校は農工にわたる特殊な学校であるからそれにふさわしい教育体制をたてて自由に驍足を伸ばすべきであるという建前から、学内、学外呼応して“単科独立”運動を猛然と興したものです。当時、類似の動きは他にもありましたが、次ぎ次ぎに牙を収めて、最後まで頑張ったのは上田織専と秋田織専の2校だけでした。中でも上田は猛烈で、ある時の如きは、2、3の代議士を先頭に、上田の団体が文部大臣室を訪ねて、大臣を取囲んで陳情に及んだのですが、いつのまにか室のあちこちに大小の陳情の幟が揚がるという始末で、大臣はその非礼に憤然として席を立ったという出来事—後に人これを呼んで、上田のムシロバタという—もありました。

しかし、G. H. Q.の支配下にあった当時の日本では、どんな理由があるにせよ、その方針に反することは、許されませんでした。結局、上田の単科独立は許さん、その代り、一般教育を自学部でやってもよい、という意味の衆議院文教委員会の決定で終止符がうたれたわけです。この委員会の傍聴から引挙げるとき、あとから来た創木大学学術局次長が私の肩をたたいて、“これからは一譜にやりましょう!”と申されたのに“はア、どうぞよろしく”と万感をこめてこたえたものでした。当時を顧みて、今でも私の残念に思うことは、その頃私は戦時中の榮養不足がたたって病弱であったために、好きにせよ、悪きにせよ、思い切って活躍できなかったことです。

こんな経緯があって、“専門”は、昭和24年、信州大学繊維学部となったので当時不穩の科を廃して、残留する学科

の強化を計れという文部省の一般方針を無視もできないので蚕、糸、紡、化の4学科を残して、まだ歴史の浅い繊維農業科を廃することに決定したのですが、それには随分切ない思いをしたものです。しかし、養蚕学科に繊維農学講座をおいて、農業科の“芽”は残しておきました。

運命の巡り合せは妙なもので、後にこの措置は繊維学部の改組の折にものを言ったようです。

さてそこで、肝心の大学造りですが、先づ第一に着手すべきことは各学科の研究態勢を整えて陣容の充実を計ることでした。それにはまだ残っていた“専門”時代の各教室の群雄割拠的な空気を一掃して、おたがい自由往来して、研究に協力しあえる雰囲気をかもし出さねばならない。そのために惜しみなく払われたみんなの努力が次第に実って、上田では大学らしい学風がだんだん育ってきているようです。17年のまし方を顧みて、私にとって最楽しかったのはおそらくこの頃のなんとなく生きがいを感ずる生活だったように思い出されます。

新制度の大学が初めて経験するのは新たに採り入れられた一般教育です。まづ学生の人間の基礎をしっかりと造ろうというこの制度は、当初は、充分深く認識されず、ただ形式的に皮相的に取扱われたきらいはないでしょうか。そのために所期の成果を十分に挙げ得なかったように反省されます。いや現在でもその欠陥は否定できません。一番いけないのは、一般教育を担当する学部が他学部の学生を“預かっている”という気持ちで、その教育に親身になって打込んでいないことです。こんな心構えで滋味のある一般教育ができる筈がありません。

その責任は;しかし、当り学部だけにあるわけではありません。大学全体の責任です。

こんな現実と直面して、今日、常識として考えられ、また一部では已に実行されているのは、たとえば“一般教養部”と称せられる、学部準ずる部局を置くか、あるいはそれに代わる“委員会”を設けるなどして、一般教育の責任の主体をはっきりさすことです。科学が目進歩する今日、一般教育の重要性は益々痛切に感ぜられます。もしこれを深切確実に行う体制が整えられたなら、信州大学にも堅実な発展が期待できると思われるのですが、在任中にそれが実現できなかったことをかえすがえすも残念に思います。

最近の2、3年の間に、信州大学では理工系学部における学科の新設とか、医学部附属病院の建築など建設的な仕事が大分捗ってきました。中でも、繊維学部が産業界の趨勢を実感して、これに即応するために断行した学部の改新はまことに鮮かだと申さねばなりません。これは学部長を中心に、真に全学一致の協力があってからこそ出来たことで、深く敬意を表する次第です。繊維学部の改新の事業は、しかし、これを以って了ったわけではありませんで、目下計画中の化学工学科や高分子化学科などの新設は勿論、将来益々拡充発展すべきものであると考えます。それにつけても、常に適度の分を守ることを忘れない繊維学部改新期成同盟会の外からの協力は高く評価されてよいと考えます。私は学長を退任するにあたりまして、上田の学園の発展を期して、学内外の御健在と御精進とを希ってお訣れの辞としたいと思います。

(昭和 37.8.20)

日本学術会議第6期会員選挙候補者公示

標記候補者の氏名が8月4日付官報に公示された。この中第6部(農学)関係の候補者は、全国区27名(定員23名)、地方区14(定員7名)で、蚕糸学の候補者名は次の通りである。

全国区	小泉 清明	地方区	有賀 久雄(関東)
	堀田 禎吉		田島弥太郎(中部)
	中川 房吉		
	横山 忠雄		

選挙投票切日は11月25日であるが、投票用紙は10月中旬から11月上旬に有権者に郵送されるという。

伊藤武男先生を送る

信州大学繊維学部長 小泉 清明

伊藤武男先生は敗戦直後の混乱期に本学部の前身である上田繊維専門学校の校長として赴任されて以来今日迄17年の長きにわたり、直接校長学部長としてまた間接には学長として我々をお導び頂いたわけでありす。

顧みますと全国民がまだかつて経験したことのない敗戦、それにつづく精神的虚脱状態、加えるに日々これ生きることにのみ追われ全く勉強どころではなかった時代、さらに新制大学への昇格にみられたあの大騒ぎ等々を考えますとかかる時代の数年間は平時の数十年にも相当するものと考えられます。このような時代を通じて従来の専門学校的色彩から研究を主力とせる大学の雰囲気醸成されて来たのは先生の地味でしかもしっかりした指導理念によるものであります。このようなことは一朝一夕になしえるものではないだけに今日の学部の発展を考えますときに私共は全く感謝にたえない次第であります。また学長となられてからは広く県内に分散した各学部、しかも地理的に利害相反する集合体からなっている典型的タコ足大学をまとめて4年間平穩に保って来られ、さらに毎年学科増設をなしえたのは時代的要請があったにしても先生の淡々として無私無欲なご性格によるところが大きいと考えられます。また良く若い連中の意見にも耳を傾け無理に自分の考えを押し通すことはなく一見優柔不断のようにみえても大事な点では良く皆を説得されて学部を誤らない方向に進めて頂いたことは私共今日においても有り難く感じる次第であります。特に若い人々の研究上での苦勞には非常に腐心され陰に陽にあらゆる援助をされかつ大いに叱咤激励され又不運の連中に暖かい思いやりをしめされ、黙々と地味な努力をしている人々の苦勞も陰ながら深い理解をもっていられたことは私共の記憶にまだ新しい点であります。

学部が一丸となって努力中の改組運動が次第に実って既存学科の全面的改組と繊維機械学科の新設が行なわれ50年の古い殻から脱皮し始めた時に当り学長として我々の運動に強力なご援助を下された先生を送り出すことは全く遺憾に堪えないところであります。一時健康のすぐれなかつた先生も近年すっかり元気になられむしろ学長として油ののりきった時に沢山の課題を残したまま信大を去られることは先生自身としても後髪の引かれる思いであらうかと推察いたします。

しかし、今日において我々としては先生によって培われた大学の学風を学部内の全員が協力一致して盛り上げ他日の大発展を期さねばなりません。そしてそのことが先生に対して真の感謝をしめす最良の方法であると確信いたします。

先生はご退官後にご子息の居られる京都で晩年を送られることになっていますが、どうかいつまでもお元気で今までどおり本学部の発展にお力添え下さると共に度々信州をお訪ね下さって直接我々を激励下さるようお願いいたす次第であります。

ここに紙上を借りて繊維学部全員と共に先生に心から感謝と惜別の辞をおおくりいたします。

伊藤先生を送る

社団法人千曲会理事長 荻原 清治

伊藤先生には学長任期満了のとき8月12日をもって信州大学長を引退されました。信大6学部中先生とまともな縁のなかったのは、吾が繊維学部であります。

先生には終戦後社会不安の去らない20年11月23日、京都の高等繊維から母校に着任され、以来33年7月信大を教官の興望を担って学長に選ばれたるまで実に13年間変動期の学園を背負ってきたのであります。学長に選ばれてからも当学部に対しては特別に厚意を示し常に親愛の情をもって接されたのであります。先生が校長、または学部長として卒業証書を授けた千曲会員は13回、約1,400名、学長としては4回、約440名、合計1,800名であります。今回先生が住みなれた信州の地を離れることはまことに愛惜の情に堪えず限りない淋しさを感じるのであります。先生の人格は常に温厚そのもので、物静かな話しぶりは学生に深い感銘をあたえ、また優しい慈父のように慕われていたのであります。

千曲会とのつながりは校長、または学部長時代に毎年の總會に名誉会長として出席され、学内事情や母校発展の様子を報告され、また母校発展に対する車の両輪的存在として千曲会の役割を高く評価し、且信頼を寄せられていたのであります。先生着任の当初は同情激動の時期であり、学校制度にも大改革が行なわれたのであります。その間に母校の単科独立運動が展開され、学内は先生を中心とし、千曲会、市側、県内外の関係有力者などが一丸となって実現に邁進し、その効果が見え99%は目的を達成と言ふところまで行ったのに G. H. Q. 一限一大学と言ふ方針のため、土壇場において惜しくもひっくりかえったことは先生の生涯忘れ得ないことでしよう。学長就任後も本学部を愛され、目下進行中の学部改組には顧問として学部長の相談相手として目的達成に意を注いで下さったのであります。また学会における活動は常に元老的存在として活躍されており、その功績により先般、大日本蚕糸会から「蚕糸功績賞」を拝授されたのであります。今、母校は内容の刷新と共に学科増設などの計画が進められているので先生に期待しているところは非常に大きかったのであります。幸に先生の後任には當に当学部を理解のあった三村新学長を得たので、先生としても心おきなく大学を去ることができると拝察するのであります。先生、引退後も母校のために、また千曲会のために御教導と御協力を賜りますようお願い致します。どうか先生にはいよいよご自愛され永く永くお健やかに、ご幸福でありますようお願い申し上げます。

ここに千曲会を代表して先生のご恩に感謝すると共に先生をお送りする辞と致します。

千曲だより

安筑支会の皆様へ

安筑支会事務局 水沢久成

支会の皆様には、ますます御清栄のことと存じ上げます。支会の運営に関しましては常々御配慮を頂き、また今回の母校火災復興資金の募金事業に関しましては格別なる御高配を賜り、ここに紙上をお借りして厚くお礼申し上げます。

支会の事務を初めて担当してみまして支会員各位の熱誠なる同窓精神に接し、今までのわが身の未致さに恥じ浅才に鞭打って頑張るつもりです。なかんずくこの募金事業の始まるや再三、市外電話を通じて担当地区の募集状況をお知らせ頂き、また御繁忙中遠路支会事務局まで早速に募金をお持ち頂いた大町地区の手塚俊男幹事、南安地区の丸山依純幹事、豊科地区の塚田信二幹事の御好意には深く頭の垂れる思いでした。またその他の幹事におかれましても御多忙のところ、幹事の委嘱をお願いしましたにも拘らず、心よくお引受け頂き募金事業の推進に御協力を願ってお蔭様にて安筑支会は全国支会中에서도良好なる成績を取っておりますここに7月末日迄の地区別募金状況(本会直送分も含む)の中間報告を申し上げます、まだ申し込まれていない方はできるだけ早く地区幹事を通じてお申し込み下さるようお願い致します。なお申込用紙のない方は地区幹事、または支会事務局へ御請求下さい。また地理的な関係等で都合の悪い方は直接支会事務局へ、申し込みあるいは納金をされても結構です。

安筑支会募金申込(納入も含む)状況
(7月末日現在)

	会員数	申込者数	申込金額(円)
松本地区	22	4	11,000
片倉地区	13	12	20,000
国蚕地区	14	7	11,000
県蚕地区	14	7	11,000

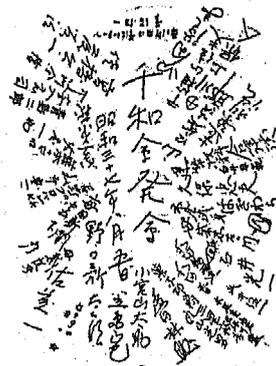
工試地区	12	6	8,000
検定所地区	5	0	0
豊科地区	10	4	7,000
穂高地区	4	0	0
大町地区	15	10	21,000
南安地区	7	6	9,000
塩尻地区	4	0	0
木曾地区	7	0	0

なお、この機会に支会の慶弔規定により、支会員赤羽是寿氏(蚕19)および若林衛氏(紡21)の故父の死去に対して弔電を贈りましたこととお知らせするとともに心から御冥福をお祈り致します。

千和会発足

箱山住夫

母校の膝元である上田市では幾多の同窓生の内繊維業、蚕糸業、以外の商工業その他多方面に亘って活躍している人々が非常に多い。これらの人々は勿論母校への愛着心がない訳ではないが、職業上



立場上、母校への結びつきが比較的少ないため、兎角同窓会へも疎遠になり勝ちなのは或る程度止むを得ない処でもあった

こんな状態は誠に遺憾であるとして4、5人の有志により、一つこれら自営或いは経営者の立場にある方々に呼び掛けて一堂にお集り頂き、親睦を図ると共に経営的、経済的な面で相互扶助を図る事により大いに同窓精神の発揚を期したいものとの相談がまとまり実現に移されたのが8月5日午後6時、場所は緑陰濃い上田公園内の富貴であった。

当日は母校から野口、山口両先生千曲会からは白井氏をお迎えして続々馳せ参ずる者は30有数名を数え非常な盛会であった。

会は発起人の挨拶、本会設立の趣旨説明に始まり、野口先生からは母校の現況、更に将来への展望について詳細な説明があり、本年1月の校舎焼失の悲運をのりこえて前進する母校の姿に一同心強くも深い感銘を与えられた。

つづいて千曲会を代表して山口先生より千曲会の現況、母校復旧寄附金等について懇切なる説明や依頼があり、更に和田上小支会長より復旧寄附金、会費納入等について協力方の要請があったが参加者一同、無論異議なく諒承、大いに力を併せて母校及び千曲会の発展を図ろうと力強い決議がなされた。

更に話し合いの結果次の事が決定された

- 1、本会の名称を千和会とする。(会員高橋公一君の発案によるもので千曲会の千と和合の和をとったもの由)
 - 2、本会の運営のマンネリ化を防ぐ為、会長、副会長等の特定の役員はおかず1年交替位いで5、6の世話人(特に若手の人々を選ぶ)をおいて、持ち廻りの形で円滑な運営を図る。
 - 3、今後年2回程度会合を開催して、同窓愛を中心として、有無相通じお互いの社会的経済的地位の向上をはかる
- 当日の出席者は大先輩はもとより20才台から40才台の少壮有為の方々の出席が非常に多かった事より本会の前途誠に洋々たるべく、同時に上小支会の発展の為に

特許・実用新案・意匠・商標

出願・訴訟・鑑定

浜 特 許 事 務 所

東京都芝新橋1の20
堤第一ビル四階
東京(591) - 0764・0765

弁理士 浜 香 三
弁護士 中 猪 之 助

信州別所温泉

(上田駅下車電車又はバス30分)

日観連会員
交通公社指定
国鉄推薦

和 泉 屋

TEL (塩田局) 30・102

も大きな推進力となるであろう事は慶賀に堪えない処である。

涼風渡る広間での懇親の宴に入るに先立っての自己紹介では各々ユーモラスなコマースナル入りの挨拶に爆笑と拍手がしきりに湧き起り先輩後輩の垣も何時しか取り払われて同窓生であると云う和やかな親近感に楽しい会場の雰囲気はいやが上にも盛り上がり、ビールの献しゅうの間に談論風発大いに欲をつくしたが、小宮山上田市収入役の音頭で万才を三唱散会したのが既に午後11時という事で如何に盛会であったかは御推察願えらる。

本会の発足については母袋氏(上田市々会議員)の力に負う処が大きく、この会の模様は翌日の上田市の地方紙にも報道されて注目を集めた事を附記しておく参加者は次の通りである(敬称略順序不同)

- 母袋 忠右衛門(系23母袋製糸場)
- 箱山 住夫(系26上田常入郵便局長)
- 佐藤 一助(系29藤本蚕種KK常務)
- 高橋 貞市(系30高橋洋品店)
- 石井 光一(系30石井眼科病院長)
- 遠藤 利治(系31千曲荘病院長)
- 佐藤 勇二(系33藤本プラスチックKK)
- 河合 清(系35河合薬局)
- 丸山 光男(系37三星商店取締役)
- 菅沼 性一(学系8菅沼モーター工業KK)
- 小宮山太助(系8上田市収入役)
- 和田 晋(系12和田電酒造社長)
- 笠原 正巳(系15笠原工業KK社長)
- 笠原 義人(系18信越電線KK社長)
- 島田 林助(系20島田書店)
- 山寺 豊一(系24長野プロパンKK)
- 高橋 公一(系29ミナト洋品店)
- 宮入 広司(系34宮入商店)
- 佐藤 平雄(系34サトー婦人材料店)
- 合津 清(系35合津建材店)
- 母袋 悦男(系37花岡製織KK工場長)
- 青島 二郎(学系3青島網織所)
- 武井 伍一(学系3武井製糸場)
- 佐藤 一(紡2昭栄製糸上田工場)
- 田口 玲(紡19カク田染物店)
- 宮下 力(紡21毎日新聞上田専売所)

- 白田 隆夫(紡23洋服生地商)
- 久保 忠夫(紡27信州ハムKK社長)
- 長谷川 濃(学紡8木屋重材木店)
- 荻原 秀治(化2荻原服物店)
- 川上 保人(学化1川上科学機械店)
- 渡辺 寛次(農2副蚕糸商)
- 細野 重治(農5八幡屋百貨店)

鹿 児 島 支 会 だ よ り
支 会 長 中 山 吉 二

長いことご無沙汰致しています。理事長初め役員各位には母校のためご苦勞のことと推察致します。鹿児島支会も火災復興資金拠出金費のこと放置している訳ではなく書面で再三お願い致してはいますが、矢張り支会総会でもやって皆さんと顔を合せたいとラチがあきませんのが当然です。そこで児玉新一、辻義男、牧宮寿雄各氏等が片倉工業の両所長関茂、鈴木茂氏と相談し、おんどを取り桜島沖に舟を浮かべ魚釣の計画を固めて会員に通達したが折悪く、片倉両所長は病気で、酒匂景雄氏は学校行事で、安田岩切氏も又急用で、宇都宮守屋氏は連絡がとれず出席叶はず、辻、牧宮両氏のみで申山も朝7時の特急バスでかけつけたが折角借入れた舟を断る訳に参らず児玉一家がやむなく利用して大変速達をかけたことは恐縮の至りであった。随って総会がお流れになったことは残念であった。併し、既に母校火災復興資金募集期限6月30日は過ぎてしまったが幸本会よりの通知で申込期限を12月末迄延期されたので、その募集の趣旨を徹底して、文部省からの復興資金をより多く予算が取れ易くする為に支会員も何かと多端の折柄甚だ恐縮だが全会員に少しでも(1口1000円にみたなくとも)応募協力方改めてお願い致します。

現在まで申込の集まったもの別表のとおり送付致します。現在は目標額の60%というところです。

次に浜武八男氏(系32)遺族育英資金を県農蚕課、関係業界有志が発起人となつての募集については皆さんのご援助を頂き特に貴台、山口学兄、宮崎の中島茂様同期の宮原豊さんを初め同窓各位のご芳情に対し何れとお礼の申し上げ様もあり

ません。遺族奥様も(敬子)涙ながら初盆であり皆さんによろしくとのお礼の言葉を申されておりました。

茲に改めて私からもお礼申し上げます。未筆乍母校の発展と会員皆さんのご健康とご幸福を祈ります。

先は不取敢ご報告まで。(37.7.25)

信州大学全職員体育大会に優勝
厚生補導係長 今井輝雄

去る8月4、5の両日、信大農学部(伊那市)当番校のもとに、信州大学職員レクリエーションの体育大会が開催され、各学部の精鋭が覇を競ったが、我学部が総合優勝し優勝杯を獲得した。

室外競技では野球を重権1、藤球、卓球に主力を注ぎ、卓球部小山、板井(善)両氏を中心とするメンバーで優勝戦に医学部を3対2で破り、部員としてここに4年連続優勝の栄を勝ち得た訳である。庭球部においては天白、田嶋、四方、一之瀬氏等を中心とするメンバーでトーナメント戦の最後の組合せで織維学部2、本部1、農学部0で、こゝまた優勝した。

この試合は応援席をして熱のある歓声を上げさせた場面もあった。

プレーは今回は混成チームであったが2回戦2対0で医学部に破れたが、なかなかポイントのあるところを見せ敵を悩ませた。弓道部は羽島、竹田(寛)、坂口の三氏を中心とする優秀メンバーで出場、金的こそ物にならなかつたが、上位の成績を得て気はくのあるところを示した。室内競技としての開幕は新進気鋭小紫5段初出場の腕ふるい、なで切りで第1組で優勝、2組、3組の中島、倉沢両氏もよく活躍し上位の成績を納めた。将棋は滝沢(留)氏外が数々相手を悩ましたが大に勝を譲った結果となった。以上の総合成績により1位織維学部、2位信大附属病院の順で大会開設以来松本地区を一步も出なかつた。優勝杯を物にして上田勢の歓声はいやが上にも天高く響いた。この際には上京中であつた小泉学部長、清水事務長の両氏が中央線の混雑の中をおざわざ農学部まで馳社参じ応援団は勿論のこと共に応援を賜つたことを附記する。

日本工業規格表示許可工場

日本石綿紡織株式会社

本社 長野市三輪本郷
TEL (2)6275(3)0093

テレビとステレオ

岩城屋ラジオ店

上田市横町 TEL 381

母 校 ニ ュ ー ス

伊藤前学長離任挨拶に来学

信州大学長を離任されることになった伊藤学長は7月28日学部に来学、講堂において教職員にお訣れの挨拶があった。

伊藤学長は終戦後織維専門学校長として、又大学制、初代織維学部長に、又第3代信州大学長に就任この間17年の長きに亘り、学部の内容充実と発展につくされた功績は偉大なものがあった。

同日学内有志の送別会が田沢温泉たまりやにおいて催された。

信州大学長に三村一先生就任

8月12日任期満了の伊藤前学長の後任に信州大学農学部長三村一先生が第4代信州大学長に就任された。

なお、三村一学長は8月22日大学長就任挨拶に来学された。

学 内 人 事

8月1日付文部事務官各係長級の移動が次の様に行なわれた。

庶務係長	同	中島 暹
会計係長	同	宮原大正治
管理係長	同	金井 正一
教務係長	同	白倉 一男
図書館	同	小林 藤助
付属農場	同	

矢彦沢清允・飯島莊資両氏文部教育に織維工業化学科矢木研究室の矢彦沢清允氏および織維工業化学科隅田研究室の飯島莊資両氏は8月15日付文部教育に昇任された。

紡織工学科実習工場の移改築初まる

紡織工学科実習工場は大正8年紡織学科新設以来、学生の実習実験研究に役立って来たが、建物老朽し修繕を要するので実習工場を移改築することになり、近く移転改築工事に着手することになった

北関東地区大学体育大会に参加

文部省共済組合主催による北関東地区大学体育大会は7月22日宇都宮大学にお

いて開催された。競技種目は野球、庭球、排球、卓球、バドミントン、の5種目で織維学は野球に参加し3位であった。

なお、埼玉大学が野球に優勝した。

本 会 記 事

学 内 理 事 会 開 催

8月22日学内理事会を開催、協議事項は次のとおりである。

①8月20日現在の母校火災復興資金募集申込および納入状況を各支会に報告すること。

復興資金募集については各支会の本格的協力によって募金申込額200万円を突破し、納入率も申込額の50%と上昇したが募金目標はどうしても達成願いたいので申込の低調な支会については総会を開催して協力、熱意を頂くようお願いすること。②針塚先生伝記と追想録刊行の進捗状況については、編集担当の鈴木教吾氏松尾理事の努力によって校正も五校という丹念さで既に終り、9月下旬には待望の発刊出来る予定である。ついでには刊行委員、執筆者、申込者の名簿を整備して発送下準備にとりかかることになった。

会 報 編 集 委 員 会 開 催

8月24日千曲会報編集委員会を開催した。①一般会員からの寄稿を募ること。暑さと繁忙を極めた会員各位も涼風を覚える9月、研究、随想等本会報に寄稿を願うこと。②支会総会記事、支会だより職域の集い等催しがあったときはその都度写真寄せ書等依頼する。

井上柳梧先生の初盆

井上柳梧先生が逝くなられ早くも8月は初盆であり、学部および本会から文化提灯一對を霊前にお供えいたしました。

なお、ご遺族美代子夫人より先般井上先生の図書一部および先生が画かれた日本アルプスの名画を寄贈された。この名画は学部長室に掲げてある。化学者で一面高尚な趣味多い先生を思い出すよすがとなっている。

学 内 理 事 会 開 催

8月29日学内理事会を開催し次の事項について協議した。

①千曲会厚生施設寮の建設については既報のとおり土地は北佐久郡御代田町風ヶ丘に675坪購入してあるが寮建設には困難な点があるので、良策を協議研究した

②千曲会館利用者の宿泊料については、セルフサービスとして暫定的に1泊100円と決定。③50周年記念風呂敷の残品185枚については学内希望者に一枚150円にて分譲すること。④火災復興資金の送金方法についてはこのたび富士銀行上田支店のサービスにより同行の加入者負担の振替口座座野3523番を設定したから、38年3月31日までの期限付きでの振替用紙の利用を各支会に進めること。

栗山良員氏工学博士に

石川島播磨重工業株式会社勤務の栗山良員氏(幼21卒)はかねて学位論文を大阪大学工学部に提出のところで、去る3月大阪大学工学部教授会を通過し、栄ある工学博士の學位を得られることになった。

丸田巖氏理学博士授与

花王石鹼株式会社勤務の丸田巖氏(化1卒)は大阪大学に学位論文“界面活性剤・高分子系の溶液の性質に関する研究”を提出中であつたが同教授会を通過し、5月18日付表彰ある理学博士を授与された。

伊 藤 武 男 監 修

絹 糸 の 構 造

45判550頁、図360余 定価1,300円
残部ありご希望の方はお申し込み下さい

上田市常入信大織維学部内

千 曲 会 出 版 部

振替東京 43.341

編 集 室 よ り

この夏は干ばつ続きであつたが、涼風を感じる9月新学期も始まり学園も活気を呈している。機械学科研究室の建築、紡織工学科実習工場の移改築、織維化学工学科の新設要求等学部挙げてその発展仕上に懸命である。

編 集 委 員

小林 尚一	香山 清和
一瀬 匡興	柳沢 幸雄
小林 勝	小山 定
大屋 正尚	白井 要範

今 月 出 版 予 定 乞 購 入 申 込

針 塚 長 太 郎 先 生 一 その 伝 記 と 追 想 記

刷上り300頁 追想記100余名執筆 実費頒価 1部1000円
「針塚長太郎先生一その伝記と追想記」遂に今月出版の予定
です。これは、ひとり一世の師表針塚先生を伝えるのみで
なく、母校のほころべき歴史を伝えるものです。激刺たる
息吹が一巻をおおっています。母校が新しい時代を迎えよ
うとするとき、とくに若い同窓生の愛読をおすすめいたし
ます。即刻購入申し込み下さい。なお同時に送金をお願い
します。

(千曲会振替口座東京43341番を御利用下さい)

信州大学織維学部千曲会館内
針塚先生追想録刊行委員会

ビニロン レイヨン



倉 敷 レイ ヨ ン 株 式 会 社

取締役社長 大原 総一郎

本 社 大阪府北区梅田八番地(新阪急ビル)
東京事務所 東京都中央区日本橋通三ノ一(新日本橋ビル)

火災復興資金募集

母校火災復興資金募集については会員各位の多大のご協力によって8月末現在申込額2,038,200円となり既に支会募金目標に達成近い宮城支会、京滋支会を始め三重、神奈川、安筑、三丹、兵庫、鹿児島各支は60%以上となりました。母校愛溢れる各位の熱意に深く感謝申し上げます。未だ会員に募金趣旨が滲透しておられない支会におかれましても何卒ご協力賜わりますようお願い申し上げます。

なお募金送金方法について、このたび富士銀行上田支店のサービスによつて振込手数料加入者負担の振替口座長野3523（加入者富士銀行上田支店）が設

定されました。千曲会支会事務所に連絡の上、ご利用下さい。

募 金 要 項

募 金 目 標 額 5,800,000円
 復 興 資 金 と し て 5,000,000円
 母 校 へ 提 供 す る 金 額
 拠 出 額 1 口 金 1,000円 1 口 以上
 申 込 期 限 昭 和 37 年 12 月 末

千 曲 会 員 各 位

母校火災復興資金募集実行委員長
 巢 山 喜 吉
 社団法人千曲会理事
 萩 原 清 治

支会長並支会連絡事務所 (No120号4月号掲載) その後次のとおり変更があった。

支会名	区 域	支会長勤務先又は住所	支会連絡事務所
安 筑	松本市 南北安曇郡 東西筑摩郡	浅野 清志 (蚕15) 農林省蚕糸試験場 中部支場 (松本市四ツ谷)	(同左) 水沢久成
富 山		伊藤 二男 (紡17) 富山紡績株式会社福野工場 (東礪波郡福野町100)	高岡市構田796 通産省高岡繊維製品検査所 土野毎夫
福 井		森 剛夫 (糸21) 福井県販売購買農業協同組合連合 会 (福井市大手町)	福井県農林部農業経済課 (福井市御本九一) 原口豊一朗
岐 阜		川久保 元 (紡15) 川島紡績株式会社 (岐阜市都通り5)	
静 岡		山田 良人 (糸18) 労働省静岡労働基準局 (静岡市道手町)	静岡市池田代官町1,834 安倍房吉
近 畿		磯部 英一 (糸17) 日本レイヨン株式会社 (大阪市東区今橋3の5)	(同左) 小関悦郎
熊 本		深迫 明 (蚕16) 熊本県農林部蚕糸課 (熊本市行幸町19)	熊本県農林部林産課 熊本市行幸町19 林田義雄

会 員 動 静

西山 繁 学蚕4 福 島	鐘ヶ淵蚕糸(株)相馬工場 (福島県相馬市中村町)	伝田 静夫 蚕 21 上 小 上田市千曲町二本1号
冬泉 清 糸 26 福 島	日東紡績(株)福島工場(福 島市杉妻)	熊谷 直美 糸 31 東 京 東京都板橋区蓮根町2丁目10 公園住宅2522
松井 忠 紡 29 愛 知	東海合織紡績(株)(一宮市 北方町中島字中起71)	虎谷 有朔 学糸3 東 京 東京都葛飾区立双葉中学校 (住)千葉県松戸市常盤平団地
小林 格 蚕 37 愛 知	信越放送(株)名古屋支店 (名古屋市中区南呉服町2ノ 18呉服ビル)	大平 昭人 学糸4 上 小 城南製作所管理部長(上田市 菅久保)(住)上田市大字岩 下北川馬一方
加藤 明 紡 8 愛 知	日本アセテート(株)(愛知 県一宮市宝市16)	小出 直人 化 2 静 岡 (住)静岡市大岩107 静岡大 学官舎(勤前の通り)
中川雄之助 学化9 東 京	(住)千葉県船橋市行田町8 花王石鹸寮 勤前の通り	川久保 元 紡 15 岐 阜 川島紡績株式会社(岐阜市都 通り5)
岩下 功 紡 22 福 島	日東紡績(株)福島工場(福 島市杉妻)	上原純之丞 糸別2 東 京 東京都北多摩町田無町745
小野三枝子 学糸7 神奈川	旧姓宮下 横浜生糸検査所 (住)横浜市西区杉山町4ノ97	小林 俊平 蚕 36 上 小 上田市第二中学校(上田市新 幸町)
石原 六郎 糸 11 神奈川	ニプロウコペルト社中区山下 町1(住)茅ヶ崎市中海岸12293	矢島 慧三 学糸8 茨 城 鐘淵蚕糸(株)結城工場(結 城市大字結城1828)
深迫 明 蚕 16 熊 本	熊本県農林部蚕糸課長(住) 熊本市北新坪非町171	中島 藤治 糸 26 東 京 インターナショナル・インス ベタクション・アンド・ステ ィング・コーポレーション (東京都中央区日本橋小網町 2の14洋館ビル内)
林田 義雄 糸 22 熊 本	熊本県農林部林産課庶務係長 (熊本市行幸町19)	湯原 健敏 学紡4 北佐久 軽井沢高等学校(長野県北佐 久郡軽井沢町)(住)更埴市 打沢66
新庄 和光 糸 10 東 京	(旧姓哲二郎)東京都新宿区 戸塚町4の849	中村 庄司 学化2 北佐久 (住)北佐久郡望月町神田町 喜月堂アパート(勤前の通り)
熊谷 良一 学糸6 埼 玉	埼玉県狭山市入間川3397	小林 幸雄 学農10 近 畿 東洋綿花(株)化学繊維部合 織原料課(大阪市東区高麗橋 3ノ1(住)堺市東上野芝町 2の378 東棉上野芝寮
坪内 孝夫 学農10 愛 知	愛知県蚕糸試験場岡崎市場 (岡崎市岩津町字壇の上26)	

母校火災復興資金拠出申込者氏名 (○印完納)

北奥支会

3,000円 和田 敦(蚕18)
2,000円 ○千葉豊藏(蚕29) 橋本久之介(蚕別2) 保川
茂男(学蚕6) 石塚 亮(蚕21) 野里秀直(蚕
17) 堀 正文(化7)

宮城支会

5,000円 ○森 亮平(蚕17) 伊藤力三(蚕17)
4,000円 伊藤宗敏(蚕18)
3,000円 小沢安雄(学蚕1)
2,000円 ○木内富佐司(学蚕1) 大槻英雄(学蚕4) 竹
内一誠(学蚕5)
1,000円 ○今村理則(学蚕6) 北沢周一(蚕10)

福島支会

3,000円 ○西田 正(蚕21)
2,000円 ○原田種龟(蚕9) ○竹内万二郎(蚕16) ○冬
泉 清(蚕25) ○田原盛行(学蚕2)
1,000円 ○馬場論(学化9) ○松崎守夫(農5)
700円 ○柳沢一郎(蚕27)

茨城支会

2,000円 谷沢衛(蚕26)
1,000円 ○田中康雄(蚕4) ○平塚輝男(学蚕2)

東京支会

5,000円 ○永井正彦(化5)
2,000円 ○玉田城三郎(蚕24) 青木友弥(蚕11) 田角又
十郎(蚕11) 清水衛敏(蚕11) 浜香三(紡3)
碓氷 茂(紡3)
1,000円 ○藤田錦一(蚕28) ○橋本武光(蚕7) ○八木
箭(蚕18) ○近藤邦男(学紡10) ○宇羽野 元
(学化4)

神奈川支会

5,000円 ○梅沢万二郎(蚕7) 石原六郎(蚕11)
3,000円 ○好土泰造(蚕8) 有賀康人(蚕14) ○雨宮宵
造(蚕21)
1,000円 ○石井一郎(学糸5) ○細田伸治(学化3)

埼玉支会

3,000円 ○堀内博一(紡28)
2,000円 ○藤部正夫(紡22)
1,000円 ○樋口高久(蚕37) ○塚田修一(蚕38)

京滋支会

5,000円 小湊 潔(蚕4) 飯島貞雄(紡1)
3,000円 ○石坂虎治郎(蚕5) ○北沢茂樹(紡16) ○池
田忠夫(化6) ○西島靖元(化7)
2,000円 宮城時久(蚕23) 桜井延喜(学糸2) ○寺井子
藏(紡12) ○母袋健一(紡28) ○近藤伸一(紡29)
中村克(紡29) 村松弘一(学紡6) ○佐々木喜
久(学紡7) 白沢清(化8) ○所周一(学紡9)
○松本昇(化7) ○山崎茂(化8) ○村山守生(学
化1) ○伊藤泰輔(学化3) ○輪湖朝雄(学化6)
山岸文明(学化9) 甲本正道(蚕7) ○小林博
美(化3) ○鹿野清一(化7) ○田中富夫(学
紡5) ○高岸健次(化1) ○小林義定(化7)
○桜井朋知(学紡1) ○小池了(学紡8) ○金
沢重夫(学化7)
1,000円 ○石井勝(蚕36) 小松正敏(蚕24) ○松本文善(学
化3) 小泉仁(学化3) ○小幡旭(学化7) ○清
水克正(学化8) ○唐沢郁夫(化2) ○深井英男
(学化4) ○西沢正純(学化5)

三丹支会

5,000円 小林清志(蚕17)
3,000円 植田 実(紡17)
2,000円 尾崎孜(蚕27) 西井茂雄(蚕26) 岩佐隆次(蚕
29) 細川豊(蚕19) 村岡敬公(蚕37) 岡田康二
(蚕3)
1,000円 平沢忠雄(学蚕2) 渡辺啓重(蚕33) 大滝忠良
(学紡6) 野上勲(学化9) 疋田滋(学糸9)

兵庫支会

高沢高明(学化8)
10,000円 鈴木玄九(蚕18)
5,000円 ○佐藤正明(紡28)
3,000円 ○金田久(学紡6) 大塚重藏(蚕8) 森西康允
(蚕12)
2,000円 中島静太郎(蚕5) 今井喜八(蚕29) 井立喜三
郎(蚕13) 叶沢純一(蚕17) 望月弘(蚕19) ○
木村正美(蚕26) 土居 芳樹(蚕27) 川中 貞次
(蚕23)
1,000円 ○国崎忠尚(蚕20) ○本庄昇(蚕24) 社領丈夫
(蚕40) ○宮入治男(蚕35) 秋野明(蚕36) ○
小山彰一(蚕36) ○丸田節男(蚕38) ○中村富
隆(学糸5) 宮村秀夫(学農10) 石井昭衛(学
糸6)

徳島支会

5,000円 ○遠藤文平(蚕1)
3,000円 ○土生珀二(蚕24)
2,000円 ○村田一由(蚕18)
1,000円 ○依田達郎(化7) ○佐藤理(学化2) 柳沢正
良(学化9)

愛媛支会

5,000円 河淵益美(蚕18)
3,000円 工藤見吉(蚕17) 内川勇(蚕13) ○河辺謙(紡30)
2,000円 中村孟夫(蚕38)

北九州支会

3,000円 ○進野精生(蚕25)
1,000円 ○工藤一二三(蚕1)

熊本支会

2,000円 深迫 明(蚕16) 林田義雄(蚕22) 原田正彬(蚕
22)
1,000円 野崎昭嗣(化6) 中岡保男(農1) ○関田章(化
9)

宮崎支会

5,000円 ○中島茂(蚕11) 上野昌彦(学化2)
1,000円 ○江口嘉清(蚕22) ○渡辺昭典(蚕37) ○三石
昌(学化3)

鹿児島支会

5,000円 中山吉二(蚕12)
2,000円 関茂(蚕22) 鈴木茂(蚕22) 児玉新一(蚕24)
1,000円 辻義男(蚕24) 牧宮寿雄(蚕32) 安田辰巳(蚕
17) 岩切作次(蚕22)

石川支会

3,000円 吉平大平(紡18)
2,000円 新野武雄(蚕21) 阿良田卓三(紡専)
1,000円 齊田新次(学糸) 細川泰徳(学糸6) ○藤原孝
行(学紡9)

福井支会

4,000円 ○高品喜市郎
2,000円 ○原口惣一郎 ○板坂勇(紡24)
1,500円 ○佐々木浩(紡24) ○加藤敏雄(紡25)

更埴支会

3,000円 ○池田俊郎(蚕21)
1,000円 山本邦紀(学糸1) ○田中袈裟平(蚕28)

安筑支会

2,000円 ○中山貞雄(蚕33前) ○田代毅(蚕27)
1,000円 ○岡田栄一(学紡4) ○熊谷恒次(蚕16)

愛知支会

3,000円 ○松尾介石(化3) ○田島信雄(化1) 中島光
夫(紡26)
2,000円 青木仁夫(学化3)
1,000円 ○沢田克行(学糸8) 松田清(農2) 尾崎輝美
(紡30) 土屋邦雄(紡21)

小 計 185人 381,700円
果 計 723人 1,877,200円